**治安対策課**

**支援推進グループ**

**１　大阪府子どもを性犯罪から守る条例の運用**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 14,778千円 | 18,348千円 | 19,032千円 |
| 決算額 | 13,625千円 | 17,090千円 | 15,519千円 |

子どもが性犯罪の被害に遭わない、その加害者を生み出さない社会、すなわち、子どもが健やかに成長し、安全に安心して暮らせる社会の実現に資することを目的として、大阪府子どもを性犯罪から守る条例（平成24年10月１日施行）に規定する社会復帰支援等に取り組んだ。

**２　犯罪被害者等支援事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 4,642千円 | 5,653千円 | 5,189千円 |
| 決算額 | 3,096千円 | 3,244千円 | 3,096千円 |

（１）犯罪被害者等支援対策事業

①被害者支援調整会議による支援

　　「大阪府犯罪被害者等支援条例」に基づき設置した「被害者支援調整会議」により、府（知事部局及び警察）、市町村、民間支援団体による一体的な支援を図った。

②無料法律相談の実施

重篤な被害に遭った犯罪被害者等に対し、犯罪被害者等支援に精通した弁護士による無料法律相談を実施した。

③再提訴費用の助成

損害賠償請求権の消滅時効を中断するために行う民事訴訟の再提訴費用の一部を補助する制度により被害者の経済的負担の軽減を図った。

④府営住宅等を活用した日常生活復帰支援

自宅における犯罪により居住困難となった被害者等へ短期的に府営住宅を提供する一時使用制度や民間賃貸住宅仲介制度による支援を実施した。

⑤民間団体との協働によるサポート体制の強化

犯罪被害者等からの相談や裁判所等への付き添いなどの直接支援活動等に取り組む民間支援団体へ補助金を交付し、被害者等からの多様なニーズに応えることができるよう支援体制の強化を図った。

（２）犯罪被害者等支援社会づくり推進事業

①犯罪被害者団体による社会づくり活動支援事業

啓発・支援活動を行う被害者団体を募集して補助を行い、支援社会づくりに寄与する活動の促進を図った。

②「犯罪被害者週間」（11月25日～12月１日）重点啓発事業

府内を中心に活動する被害者団体や支援団体などの関係機関と協力し大阪市役所・堺市役所でのパネル展、府立中央図書館での関係図書等の展示及びJリーグ公式試合でのスタジアム啓発等を実施した。

③被害者等による学校等における啓発事業

学校等において、犯罪被害者遺族らが自らの体験や心情等を語ることなどを通じ、犯罪被害に遭うということを、他人事ではなく、自らの問題、社会全体の問題としてとらえ、命の大切さ、かけがえのなさを考える機会を提供した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 場　所 | 対　象 | 参加者数 |
| 7月12日 | 門真市立門真はすはな中学校 | 生徒等 | 約140人 |
| 7月15日 | 府立岬高等学校 | 教職員・生徒等 | 約70人 |
| 7月19日 | 府立堺工科高等学校 | 生徒等 | 約90人 |
| 9月29日 | 府立中央高等学校 | 生徒等 | 約400人 |
| 10月13日 | 府立福井高等学校 | 生徒等 | 約30人 |
| 11月1日 | 大阪明星学園 | 生徒等 | 約1,600人 |
| 11月24日 | 府立茨田高等学校 | 生徒等 | 約90人 |
| 11月30日 | 府立和泉総合高等学校 | 生徒等 | 約200人 |
| 1月12日 | 府立布施高等学校定時制課程 | 生徒等 | 約20人 |
| 1月19日 | 府立吹田東高等学校 | 生徒等 | 約320人 |
| 1月27日 | 東大阪市立新喜多中学校 | 生徒等 | 約240人 |

④被害者等支援促進研修事業

　 府市町村に設置されている「総合的対応窓口」担当職員を対象に実践型研修を実施した。

**３　公民連携性犯罪・性暴力被害者支援事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 15,545千円 | 15,048千円 | 16,139千円 |
| 決算額 | 15,055千円 | 14,627千円 | 15,785千円 |

性犯罪・性暴力被害は潜在化・継続化しやすく被害直後から総合的支援を行えるワンストップ支援センターの役割が重要なため、府内で先駆的な取組を行っている民間のワンストップ支援センターのサポート等を行うことで被害者支援の安定化を図り、被害の深刻化の防止につなげることを目的とした事業を実施した。

（１）ＳＡＣＨＩＣＯによる24時間365日の相談体制のサポート

　　　ＳＡＣＨＩＣＯ（「性暴力救援センター・大阪」の通称、府内唯一の病院拠点型ワンストップ支援センター）が実施する相談及び同行等の支援事業にかかる補助を行った。

（２）協力医療機関とＳＡＣＨＩＣＯとの連携（「性暴力被害者支援ネットワーク」の連携）

　　　連携・協力会議を３回開催し、10協力医療機関とＳＡＣＨＩＣＯの間で支援スキルの共有を図るなど、ＳＡＣＨＩＣＯを核とした性暴力被害者支援ネットワークの連携・強化を図った。

**４　再犯防止推進事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 578千円 | 711千円 | 1,083千円 |
| 決算額 | 458千円 | 457千円 | 509千円 |

犯罪をした者等が立ち直り、地域社会の一員として、ともに生き、支え合う社会づくりを促進するため、「大阪府再犯防止推進計画」に基づき、再犯防止の取組を進めた。

（１）保護観察対象者等のトライアル雇用

　　　保護観察対象者等の円滑な社会復帰に向けて、府の非常勤職員として短期間雇用し就労体験の機会を提供しつつ、民間企業等への就職につなげる取組を行った。

（２）再犯防止講演事業

　　　社会復帰を目指す者やその支援者等が、自らの体験や想いなどを含めて社会復帰を取り巻く現状を伝えることにより、犯罪や非行をした者を社会で受け入れて行くことが再犯を防止し、新たな被害者を生まない社会の構築につながる事を考える機会を作り、府民理解の醸成を図った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 場　所 | 対　象 | 参加者数 |
| 7月19日 | 府立藤井寺工科高等学校 | 教職員 | 50名 |
| 8月30日 | 箕面学園高等学校 | 教職員 | 50名 |
| 9月6日 | 府立岬高等学校 | 教職員 | 50名 |
| 9月14日 | 関西学院千里国際中等部・高等部 | 生徒 | 64名 |
| 9月29日 | 府立福井高等学校 | 生徒 | 29名 |
| 11月17日 | 府立りんくう翔南高等学校 | 生徒 | 210名 |
| 12月1日 | 立命館大学大阪いばらきキャンパス | 学生 | 50名 |
| 2月2日 | 岸和田市立福祉総合センター | 一般 | 70名 |

**地域防犯推進グループ**

**１　大阪府安全なまちづくり推進会議総会の開催**

犯罪による被害を防止するとともに、犯罪を発生させない環境づくりを進めるための施策を総合的かつ効果的に推進するため、大阪府安全なまちづくり推進会議総会を開催した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　程 | 場　所 | 主な議題等 |
| 令和４年６月17日 | プリムローズ大阪 | ・令和３年度活動結果  ・令和４年度活動計画  ・安まち大使再委嘱等 |

**２　安全なまちづくり広報・啓発活動事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 516千円 | 467千円 | 467千円 |
| 決算額 | 450千円 | 424千円 | 442千円 |

1. 大阪府安全なまちづくりキャンペーン（令和４年度）

府民の安全に対する意識を高めるため、特殊詐欺の被害防止や子

どもの安全確保に向けて、安全なまちづくり推進月間である10月に、府

内の自治体、警察、事業者等と連携して、「大阪府安全なまちづくりキャン

ペーン」等を開催した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 場　所 | 内　容 | 参加団体 |
| 10月１日 | 芦原公園  （箕面市） | 特殊詐欺被害防止 | 箕面市、箕面警察署 |
| 10月10日 | ヤンマースタジアム長居（東住吉区） | 犯罪被害防止 | 大阪市、東住吉警察署 |
| 10月10日 | 大阪府立工芸高等学校（阿倍野区） | 犯罪被害防止 | 大阪府自転車商防犯協力会、阿倍野警察署 |
| 10月11日 | 近鉄富田林駅前  （富田林市） | 特殊詐欺被害防止 | 防犯委員会、防犯協議会、富田林市、富田林警察署　等 |
| 10月11日 | 大阪市中央区役所（中央区） | ひったくり被害  防止 | 大阪市、大阪市中央区、東警察署　等 |
| 10月11日 | 南海岸和田駅前  （岸和田市） | 女性被害防止 | 警友会岸和田支部、鉄道警察隊、岸和田警察署 |
| 10月11日 | 天王寺警察署  （天王寺区） | 犯罪被害防止 | ゆうちょ銀行天王寺店、仏教青年会、天王寺警察署　等 |
| 10月12日 | わんわんパトロール（熊取町） | 子ども被害防止 | 学生ボランティア、防犯協議会、泉佐野警察署　等 |
| 10月12日 | 池田泉州銀行東成支店（東成区） | 特殊詐欺被害防止 | 池田泉州銀行、金融機関防犯対策協議会、東成警察署　等 |
| 10月13日 | 吹田さんくす夢広場（吹田市） | 特殊詐欺被害防止 | 安まち大使、防犯協議会、警備業協会、吹田警察署　等 |
| 10月14日 | ＪＲ高槻駅前、阪急高槻駅前（高槻市） | 特殊詐欺被害防止 | 女性防犯部会、大阪友の会、高槻市、高槻警察署 |
| 10月15日 | 花園中央公園噴水広場（東大阪市） | 犯罪被害防止 | 防犯協議会、東大阪市、河内警察署 |
| 10月16日 | 服部緑地公園陸上競技場（豊中市） | 犯罪被害防止 | 大阪府 |
| 10月16日 | おおきにアリーナ舞洲（此花区） | 犯罪被害防止 | 大阪エヴェッサ、大阪市、此花警察署 |
| 10月18日 | 堺市役所本館  （堺市） | 犯罪被害防止 | 堺市 |
| 10月18日 | 南海泉大津駅前  （泉大津市） | ひったくり被害  防止 | 防犯委員会、防犯協議会、泉大津警察署 |
| 10月19日 | ローソンパナソニック前店  （守口市） | 犯罪被害防止 | コンビニエンスストア防犯対策協議会、守口警察署　等 |
| 10月19日 | 大阪市立深江小学校（東成区） | 子ども被害防止 | ドギーマンハヤシ、  大阪市東成区、東成警察署 |
| 10月20日 | イズミヤスーパーセンター福町店  （西淀川区） | 特殊詐欺被害防止 | 安まち大使、防犯協会、大阪市西淀川  区、西淀川警察署 |

（２）その他の広報啓発

①「防犯防災総合展2022」（令和４年６月９日、10日）

インテックス大阪において開催された防犯イベントに出展し、こども１１０番運動事業や特殊詐欺被害防止に向けた広報啓発を実施した。

1. ホームページによる情報提供

府ホームページにおいて「安全なまちづくり推進月間」に各地で開催

した「安全なまちづくりキャンペーン」の取組を紹介した。

**３　特殊詐欺被害防止緊急対策事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 3,828千円 | 4,840千円 | 22,600千円 |
| 決算額 | 3,779千円 | 3,709千円 | 11,679千円 |

府内市町村において、特殊詐欺被害防止対策が主体的に取り組まれるよう、特に被害に遭うおそれの高い高齢者に対して、市町村が実施する特殊詐欺対策機器の普及への支援を行うとともに、広報啓発等を行って、府民の防犯意識の高揚と自主防犯行動を促し、被害の防止を図った。

特殊詐欺被害の認知件数が多い自治体を中心に、府の補助事業の活用を働き掛けるため市町村へ事業説明を行った。

（１）特殊詐欺対策機器普及補助事業

①補助実施市町村　　　　　　　　11市町

②補助による台数実績　　　 　 5,630台

（２）広報啓発等

　　インターネットを活用した広報啓発

　　　　治安対策課公式ツイッターにより、発生件数の多い特殊詐欺の具体的な手口や、新たな犯行手口、特殊詐欺被害の現状等についてタイムリーに発信した。

1. 治安対策ニュースでの広報啓発

　　特殊詐欺の手口や、被害防止対策機器について治安対策ニュースに掲載し、府内967小学校区に所在する地域安全センターに配布し、広報啓発を行った。

1. 市町村担当者に対する情報提供

　　　　特殊詐欺被害の手口や被害の現状等を掲載した治安対策課通信の市町

村防犯担当者への発信、同担当者や大阪府警察が参加する市町村防犯担当者会議において特殊詐欺被害の現状等を紹介し、情報共有を行うとともに、防犯意識の向上を図った。

1. 防犯教室による広報啓発

　　　　りそな銀行と合同で特殊詐欺被害防止をテーマに防犯教室を実施し、特殊詐欺の手口や犯人から掛かってきた実際の電話音声を聞くなどして防犯意識の向上を図った。

**４　「こども１１０番」運動の推進**

市町村をはじめ企業等の協力を得て、府民が一体となって「こども１１０

番」運動を推進するため、８月を「こども１１０番月間」として、府内各所において運動の普及・啓発活動を行うことにより、夏休み期間中の子どもの安全について注意を呼びかけた。

（１）各市町村の協力による啓発活動

①　広報誌への掲載

②　ポスター、のぼりの掲示

1. 企業・関係団体の協力による啓発活動
2. パナソニックスタジアム吹田で開催されたガンバ大阪公式戦にてデジ

タルサイネージによる「こども１１０番運動」の広報啓発

1. 府内19カ所の銭湯に設置されているテレビにて「こども１１０番運動」

の広報啓発

③ キッズプラザ大阪にて啓発物品配布によるキャンペーンの実施

④　府内施設（海遊館、堺市立ビッグバン、天王寺動物園、ひらかたパー

ク、鶴見緑地プール、イオンモール等）にて「こども１１０番運動」の

チラシを配架

⑤ 株式会社ハークスレイ本社屋上のデジタルサイネージにて「こども１

１０番運動」の広報啓発

⑥ 一般財団法人大阪府青少年活動財団の協賛により、「こども１１０番運

動」のグッズ及びチラシを配布

⑦ 北大阪急行販売株式会社の駅構内にて「こども１１０番運動」のチラシ

を配架

**５　ボランティア団体の表彰**

　　安全なまちづくりを推進するため、地域で安全なまちづくりに熱心に取り組んでいる防犯ボランティア団体（７団体）を表彰した。

　（表彰式）

・日時　令和４年10月28日（金）

・場所　本館特別会議室

　（受彰団体）

* キタ歓楽街環境浄化推進協議会（大阪市北区）
* 泉北光明池専門店事業協同組合（堺市南区）
* 千三地区青色防犯パトロール隊（吹田市）
* 楠ケ丘防犯委員会（河内長野市）
* 英田南自治連合協議会（東大阪市）
* 日下自治会青色防犯パトロール（東大阪市）
* 和泉防災無線クラブ（和泉市）

**６　ミナミ活性化事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 予算額 | 100千円 | 100千円 | 100千円 |
| 決算額 | ７千円 | ９千円 | 58千円 |

大阪ミナミの活性化を図るため、府、府警本部、大阪市、経済団体、地元団体等で構成する「ミナミ活性化協議会」の幹事会議において、大阪府としての取組を報告した。

代表者会議では、協議会の今後の取組を示した「共同アピール(案)」を審議により採択し、ミナミ地区の環境浄化を呼びかける啓発イベントを実施した。

**７　大阪府暴力団排除条例の運用等**

1. 府民の安全安心で平穏な生活を確保し、健全な社会経済活動を実現するため、府民や事業者の役割、暴力団の排除に関する基本的施策、公共工事等における措置、事業者による暴力団員(関係者を含む。）に対する利益供与の禁止、青少年の健全な育成を図るための措置、不動産の譲渡し等をしようとする者の講ずべき措置等について定めた大阪府暴力団排除条例（平成23年４月１日施行）の運用を行っている。

令和３年には、条例を改正（これまでの学校、児童福祉施設、図書館等の保護対象施設から200メートル以内における暴力団事務所の開設及び運営の禁止に加え、都市計画法に定める住居系用途地域、商業系用途地域、工業系用途地域（工業専用地域を除く）を追加）し、暴力団事務所の新設禁止区域を拡大した。

また、「大阪府暴力団排除に関する協定書」等に基づき、約７万3,000件の暴力団排除照会を実施し、暴力団員等の介入が認められた案件はなかった。

1. 府警、関係部局と連携し、府の出先機関、自治体等を対象として府内８か所で行われた地域連絡会において、暴力団排除の必要性や行政対象暴力に対する対応要領等について講演を行った。

　　　　また、民事介入暴力担当の弁護士等の講演を取り入れた不当要求排除対策研修会を府内８か所で実施し、暴力団排除に向けた啓発活動を実施した。